

第4回

'93選抜女子駅伝 北九州大会

□ 期 日 / 1993年1月24日 (日)
 □ コース / 小倉北区・北九州市役所前—
 八幡西区・北九州プリンスホテル
 折り返し 33.2km

一般・大学の部 5 区間 高校の部 6 区間

順位

一般・大学の部

- 1 ダイイチ (広島) 1° 46'34"
- 2 TOTO (福岡) 1° 48'49"
- 3 沖電気宮崎 (宮崎) 1° 49'11"
- 4 ニコニコドー (熊本) 1° 49'26"
- 5 九電工A (福岡) 1° 49'33"
- 6 松下通信工業 (神奈川) 1° 49'36"
- 7 ベスト電器 (福岡) 1° 50'05"
- 8 鐘紡 (山口) 1° 50'23"
- 9 天満屋 (岡山) 1° 50'31"
- 10 日本生命 (大阪) 1° 50'39"
- 11 富士銀行 (東京) 1° 51'28"
- 12 九電工B (福岡) 1° 55'23"
- 13 大分選抜 (大分) 1° 55'26"
- 14 福岡大学 (福岡) 1° 56'11"
- 15 NEC九州 (熊本) 1° 57'39"
- 16 九州女子大学 (福岡) 2° 03'15"
- 17 福岡教育大学 (福岡) 2° 08'15"

区間賞

- 第1区 (4.5km) 菊池 伸江 (松下通信工業) ★13'29"
 第2区 (5.9km) 麓 みどり (ダイイチ) ★18'14"
 第3区 (5.1km) 袴田 りえ (沖電気宮崎) 16'22"
 第4区 (5.9km) 加藤 由美 (松下通信工業) 19'56"
 第5区 (11.4km) 王 明霞 (ニコニコドー) 36'03"
 5区はコース変更による新区間

高校の部

- 1 筑紫女学園 (福岡) 1° 49'25"
 - 2 熊本市立商業 (熊本) 1° 49'31"
 - 3 鹿島実業 (佐賀) 1° 49'37"
 - 4 西京 (山口) 1° 50'20"
 - 5 九州国際大付 (福岡) 1° 51'53"
 - 6 鈴峯女子 (広島) 1° 51'55"
 - 7 宮崎東 (宮崎) 1° 52'01"
 - 8 鳴門 (徳島) 1° 53'04"
 - 9 神村学園 (鹿児島) 1° 53'15"
 - 10 山田 (高知) 1° 53'57"
 - 11 柳川 (福岡) 1° 55'04"
 - 12 豊見城南 (沖縄) 1° 55'42"
 - 13 吉岐商業 (長崎) 1° 56'18"
 - 14 就実 (岡山) 2° 02'52"
 - 15 大分女子 (大分) 2° 03'17"
 - 16 北九州市選抜 (福岡) 2° 03'19"
- ※ 由良育英 (鳥取) 棄権

区間賞

- 第1区 (4.5km) 平良久美子 (豊見城南) ★13'32"
 第2区 (5.9km) 宮崎 安澄 (筑紫女学園) ★18'47"
 第3区 (5.1km) 和田 典子 (熊本市立商) ★16'12"
 第4区 (5.9km) 高橋 直美 (鈴峯女子) 20'40"
 第5区 (4.9km) 大田 直子 (九国大付) 17'00"
 第6区 (6.5km) 新田 愛子 (筑紫女学園) 20'53"
 ★は区間新
 6区はコース変更による新区間



初優勝のゴールテープを切るダイイチ・原万里子

一般・大学の部

ダイイチが悲願の初優勝「3度目の正直」 2区の麓が10人抜き

ダイイチが悲願の初優勝を飾った。前回は、前々回も最終区間で逆転されていたが、今回は独走でゴールテープを切った。

1区は松下通信工業の菊池伸江が同タイムのベスト電器・王依麗をかわして制した。3位の鐘紡・古川歩までが区間新記録。優勝候補の一角、ニコニコドーは15位と大きく出遅れた。

1区でトップから約150m差の6位だったダイイチは、2区でエース・麓みどりが快走。出だしの1kmで3位に浮上、1.5km手前でベスト電器、1.7km付近でトップの松下通信工業を抜き去り、高校チームも含めて10人抜きで首位に立った。さらに下り坂を利用して加速、独走態勢を築いた。この区間の自己記録も2年ぶりに36秒縮めた。

ダイイチは3、4区も三上実帆、島崎克江が堅実な走りでリードを広げ、アンカーの原万里子はその後押しを受けて、後続に2分以上の大差をつけて、悠々ゴールした。

TOTOは区間ごとに着実に順位を上げ、アンカー山田貴子が2位でゴール。前回優勝の沖電気宮崎も3区で袴田りえが区間賞を取って追い上げ、3位に食い込んだ。ニコニコドーは最終区の王明霞が大会唯一の4年連続区間賞、高校生も含め15人抜きの離れ業を演じ、4位に入った。

原万里子・ダイイチ5区 「普段なら『ダイイチ頑張れ』と声援されるのに、『原さん頑張っ』と言われるのが多くて、本当にうれしかった。皆さんが私に勝たせてやりたいと応援してくれたのだと思う」

王明霞・ニコニコドー5区 「何人抜いたか覚えてないけど、個人的には満足できるレースだった」

高校の部

筑紫女学園が大逆転で3連覇

筑紫女学園はアンカーの新田愛子が先行する熊本市商、鹿島実をとらえ、逆転で3連覇を果たした。

1区で8位と出遅れた筑紫女学園は、2区でエースの宮崎安澄が実業団勢を含めて12人を抜いて2位に浮上。一方、鹿島実は大宅美鈴の力強い走りで4位からトップに。西京が3位に続いた。

3区以降は熊本市商が快進撃。3区の和田典子が区間新記録を1分以上縮めて鹿島実に9秒差の2位。4区で首位に立ち、5区で2位の鹿島実に約150m、3位の筑紫女学園に約200m差をつけた。

しかし、最終区で筑紫女学園の新田愛子が追い上げ、残り3km付近から熊本市商の松本尚子、鹿島実の猶崎和美の3人でダンゴ状態に。残り500mから新田愛子がスパートし、粘る2人を振り切った。

河村邦彦・筑紫女学園監督「新田愛子は4区かアンカーか迷ったが、競り合いに強いからアンカーにした。何とか面目を保った」



3連覇を達成した筑紫女学園の新田愛子